

# 幼保小だより



幼小連携・接続推進コーディネーター 小瀬知里(扇山小学校)

## 各学校の取組紹介～扇山小学校

おたよりの発行が滞りすみません。小学校では運動会が終わり、日常の学習をすすめていることと思います。さて、今回ご紹介する扇山小の今年の1年生は、ベテランの小橋先生と若手の梅原先生、そして特別支援学級担当の太田先生、加藤先生と米倉先生の5名による学年団です。1年生の担当が初めての先生もあり、スタートカリキュラムハンドブックを実際に扱ったあとの率直な感想をいただけるため、改善に大変助かっています。

### 〈生活科を中心に、4月〜〉



### 校内探検をしていると…



こんにちはー！あれ？だれだろう？

廊下で出会った業務吏員さんは、校内をきれいにしてくれるんだね。「機械室」は、秘密基地みたい！



（右）ほづきの掃き方も、丁寧にご教えます。  
（左）入学3日目には交通安全教室を実施。新型コロナウイルスの関係により、警察署の方をお呼びできず残念でした。写真は交通指導員さんの紹介です。

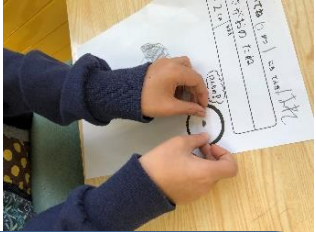


校長先生は、園長先生と同じ？もっとお話してみたいな。

**春**「休校期間中に春が終わってしまっ！」ということから、休業中の学習としてプリントを配布しました。保護者の方と一緒に取り組んだことで、一人一人の学びが深まっています。



### あさがおの種の観察



夏の遊びを通して季節を体感

**夏**【生活】きせつとなかよし なつすなや つちとなかよし  
「10の姿」での単元を捉えると、たくさん項目が当てはまります。その中でも評価の観点と照らし合わせると「豊かな感性と表現」「自然との関わり」「思考力の芽生え」「言葉」による伝え合い」そして、それらを支える「健康な心と体」が考えられます。



くさすもう



シャボン玉づくり



水遊び

**秋**上段の写真は、「生活」なかなうう、小さなもたちです。この単元で触れあう「小さなもたち」は、うさぎやモルモットなどの小動物や昆虫になります。東小学校は上戸別公園へ行き、小動物と触れあう活動を取り入れています。  
扇山小学校では、家庭や河川敷で見つけた昆虫を育てています。特徴をグループで調べ、月ほど育てました。子ども達は、休み時間を利用して虫の餌取りに外へ出たり、うちの清掃をしたりと、体験的な学びを通して、小さな生きものへの愛情を育んでいました。



図鑑で調べる



じゃがいも・とうもろこしの収穫

## 〈学習のようす、4月〜〉



**特別支援学級全体で  
なつまつり!**



【一年一組 国語】  
小橋先生は板書と並行してプロジェクターを用いて授業を行っています。  
「ひらがな」の学習で、書くときに気を付けるポイントを丁寧に指導しています。幼児期に触れていた文字の正しい書き方に、興味津々の子どもたちです。  
下の写真は識字に課題をもつ児童用に作成したカルタです。隙間時間に個別の支援を継続したこと、またご家族の協力もあり、現在は自力で読むことができています。



【特別支援学級】  
夏祭りの体験、そして1年生と他学年との交流を目的に開催しました。  
おもちゃ作りからルールの説明、実施まで子ども主体で取り組み、次への学習意欲へとつなげることができました。



【一年二組 国語】  
梅原先生は、板書と実物投影機を活用しながら授業を行っています。  
ノートの書き方において、先生が見本を示しながら、書く場所を指示することで、振り返りのしやすいノートができています。ノートは学びの記録です。丁寧な記録で、子ども達の学びを支えています。  
また、授業の足跡を「模造紙板書」で残しています。子ども達の豊かな発言が記録されているのがわかるでしょうか。「言葉による伝え合い」は幼児期から大切にしたい力です。

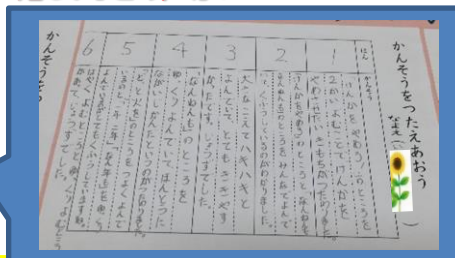
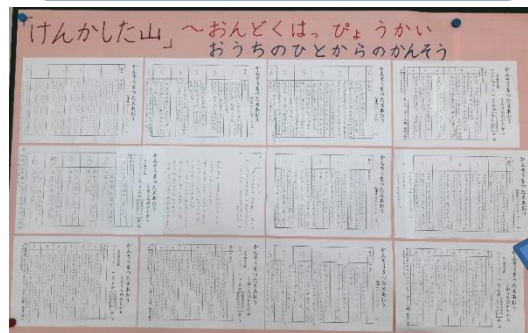


【上段（行事）】  
本来は4月に行う「一年生を迎える会」本校は9月に分散開催をしました。  
【下段（使える取組例）】  
一年一組「国語」音読の様子を録画したDVDを保護者に渡し、感想をいただきました。入学式から一度も学校での様子が見られなかったため、大変好評でした。

【扇山小学校の1日の流れ】  
朝の支度終了後、提出物を出し、自席で絵本やお絵かきをします。

- 8:15 朝読書
- 8:20 朝の会
- 8:30 1時間目
- 9:20 2時間目
- ～ 中休み ～
- 10:30 3時間目
- 11:20 4時間目
- 12:05 給食
- 12:45 清掃
- 13:00 昼休み
- 13:25 5時間目
- 14:10 帰りの会

**保護者から「授業の様子が見られて嬉しい」との声が。**



小学校では、幼児教育からの「なめらかな接続」の中核として「生活科」におけるカリキュラムの工夫が求められています。幼児期に「遊び」を通して学んだ事物の概念の基礎を、中学年以降の「理科」「社会科」へとつなげていきます。

そのカリキュラムの工夫にあげられているものが、生活科を中心とした「合科的・関連的な指導の工夫」です。

- 関連的…各教科等の指導内容の関連を検討し、指導の時期や指導の方法などについて相互の関連を考慮して指導するもの。
- 合科的…単元又は1コマの時間の中で、複数の教科の目標や内容を組み合わせ、学習活動を展開するもの。（小学校学習指導要領解説生活編P.58）

幼児教育施設の先生方とお話すると、「子どもは楽しくなれば歌うし、興味をもてば数を数え出しますよ。」とおっしゃっていました。児童の興味を引き出すことを中心に柔軟に授業構築をすることで、主体的にいきいきと学ぶ姿が見られます。児童の「ぼく、できるよ」「わたし、できるよ」という声を引き出す工夫を皆さんで考えていけるといいですね。